

1年生は家庭科の夏休みの課題で、JAグループ広島が主催する「ライスクッキングコンテスト」に取り組みました。今年のテーマは「美味しさ まるごと いただきます！ 野菜たっぷり ヘルシーごはん」でした。野菜の1日の摂取量350gを目安として1食分の量を考えた献立であることや、最低一品は野菜の芯や葉・茎などを無駄なく丸ごと使った献立であることなどを条件に、一汁三菜のメニューを考案しました。県内の中学生・高校生の考案した3159点の応募の中から、一次審査により18名が選ばれ、その中に本校1年生の高橋未希さんが入り、11月3日（土）、二次審査に挑んできました。

二次審査では、考案した献立を、1時間で4人分調理します。比治山大学の調理室を会場として行われましたが、慣れない場所である上に、たくさんの審査員やマスコミの方などに囲まれながらの、大変緊張した1時間となりました。制限時間ぎりぎりまで、手を抜くことなく集中して調理をし、見事に盛り付けまで終わることができました。

審査の結果、惜しくも最優秀賞は逃しましたが優秀賞である比治山大学賞を受賞し、たくさんの副賞をいただいて帰ることができました。緊張の中、本当に最後まで全力を尽くし、よい経験となったようです。

なお、当日の様子は、RCCテレビで12月13日（木）と12月20日（木）、18時56分より「つなぐ大地の絆」という番組で放送されます。

■ 比治山大学賞 高橋 未希さん 「元気もりもり！健康第一のスペシャルランチ」

